

# FD NEWSLETTER



## CONTENTS

- 駒澤大学の将来とFD推進  
医療健康科学部 学部長  
瀬尾 育弉
- 2016 年度「学生による授業アンケート」  
(前期) 集計結果
- 「就活」と授業運営  
法学部 学部長  
高橋 洋城
- FD推進委員会今後の活動予定
- 2016 年度「公開授業」実施の  
お知らせ

## 駒澤大学の将来とFD推進

医療健康科学部 学部長  
瀬尾 育弉

少子高齢化が進み、10年後の駒澤大は大丈夫だろうか、皆さんも心配しておられることと思います。今まさに、本学の存在価値や将来ビジョンが問われています。

FDの本質は何でしょうか？ 私は、社会や企業が雇って本当に良かったと思える学生を輩出するための教育改革だと、勝手に思っています。FDは国の中央教育審議会から言われてやるものではないし、ICTの活用でもない。金太郎飴みたいな均一な学生を育てたくもないです。

さて、この大学に来て10年目になりますが、一番最初の印象は校内が汚いことです。最近、上智大学に立ち寄ったが、ゴミ一つ落ちていません。同じ宗教系の大学でありながら、なぜこんなに違うのか。仏教・禅の教えの一つとして、「仏教と人間」という授業が一般教養科目にあります。他人に迷惑をかけないとか、自利利他の考えは本当に身につけているのでしょうか？

先ほど述べたように、社会や企業の望みは、雇って本当に良かったと思える学生を採用できることで、その理想の学生の資質とは、主に、

① 心（慈愛（利他）、謙虚さ）② 基礎力 ③ 考える力（問題発見力・解決力）④ プレゼン力 ⑤ コミュニケーション力

などと思いますが、少なくとも、①の心の面で、さすが駒澤出身だと言われる人材を送り出したい。そこで、禅の心を実社会生活においてどう実践していくのかを、さらに具体的に教育できないものだろうか？ 学内のあらゆる所、食堂、トイレ、通路、教室、喫煙所に禅の教えを散りばめる。各授業においても、禅の心を散りばめる。しかし、小学校で教えるような道徳教育であってはつまらないし、教職員自らがまず行動し、実践すべきなのは当然ですが。私のいる医療健康科学部では、患者接遇の授業などにもっと禅の心を積極的に取り入れたいと思います。

次に、③の自ら考える力を養うには、アクティブ・ラーニングを取り入れてはいるものの、まだ、十分とは言えない。我々の学部では、実験が計10科目（1年次--3科目、2年次--3科目、3年次--4科目）、4年次の卒業論文などあるが、学生と対話しながら、学生に考えさせるようにしている。

しかし、自分から進んで学習し、とことん考えようとする学生は数少ない。一つには、授業科目、実験レポートが多すぎて、時間的余裕がなく、過去や他学生のレポートをコピーする学生もいる。毎回実験内容を変えればいいのだが、教員にそんな時間的余裕はない。二つには、基礎力の乏しさです、基礎力がないと新たな発想が出てきません。

今後、早急なカリキュラムの見直しが一番重要であると思いつつ、会議の多さと雑用にまみれている今日この頃です。

## 2016 年度「学生による授業アンケート」(前期) の集計結果について

2016 年度「学生による授業アンケート」(前期)を以下のとおり実施した。

実施日	平成 28 年 6 月 6 日 (月) ~ 6 月 25 日 (土)
対象科目	1,204 科目
対象者数	79,778 人 (延べ人数)
実施科目数	1,204 科目
有効回答数	41,540 件 (52.1%)

### 【質問項目】

#### Q1. 所属学部学科等

20 : 仏教 19 : 国文 18 : 英米文 17 : 地理 16 : 日本史学  
15 : 外国史学 14 : 考古学 13 : 社会学 12 : 社会福祉学  
11 : 心理 10 : 経済 9 : 商 8 : 現代応用経済 7 : 法律 A  
6 : 法律 B 5 : 政治 4 : 経営 3 : 市場戦略  
2 : 診療放射線技術科 1 : グローバル・メディア

#### Q2. 学年

5 : 4 年 4 : 3 年 3 : 2 年 2 : 1 年 1 : その他

Q3. どのような入学試験を受けて、あなたは本学に入学しましたか。

11 : 一般入試 10 : 大学入試センター試験利用入試  
9 : 一般推薦入試 8 : スポーツ推薦入試 7 : 指定校推薦  
6 : 附属校推薦入試 5 : 留学生特別入試  
4 : 帰国生特別入試 3 : 編入学試験 2 : その他の試験  
1 : 回答しない

Q4. この授業を何回欠席しましたか。

5 : 0 回 4 : 1~2 回 3 : 3~4 回 2 : 5~6 回 1 : 7 回以上

Q5. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数選択可)

7 : シラバスを見て授業内容に興味を持った  
6 : シラバス以外の情報 (友人等) により、授業内容に興味を持った  
5 : 履修モデル (コース制等) を見て決めた  
4 : 資格の取得  
3 : 必修科目または選択必修科目だったから  
2 : 時間割 (曜日時限) を考慮して決めた  
1 : その他

Q6. この授業の予習にあてている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

Q7. この授業の復習にあてている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

(Q6・7 選択肢)

5 : 4 時間以上

4 : 3 時間以上~4 時間未満

3 : 2 時間以上~3 時間未満

2 : 1 時間以上~2 時間未満

1 : 1 時間未満

Q8. あなたは授業に熱心に取り組んでいますか。

Q9. 授業はほぼ定刻通りに実施されていますか。

Q10. 通常通り、授業回数は確保されていますか。(補講・YeStudy 等による課題授業含む)

Q11. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。

Q12. この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。

(Q8~12 の選択肢は 3 ページに記載)

Q13. 教科書・配付資料等は授業内容を理解するうえで効果的ですか。

5 : とてもそう思う

4 : そう思う

3 : どちらとも言えない

2 : あまりそう思わない

1 : 全くそう思わない

0 : 教科書・配付資料等がない授業

Q14. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられますか。

Q15. 教員の話し方・声のボリュームは聞き取りやすいですか。

(Q14・15 の選択肢は 3 ページに記載)

Q16. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすいですか。

5 : とてもそう思う

4 : そう思う

3 : どちらとも言えない

2 : あまりそう思わない

1 : 全くそう思わない

0 : 板書・スクリーンへの投影がない授業

Q17. 教員は授業内容に沿った授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。

(Q17 の選択肢は 3 ページに記載)

Q18. 教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。

5 : とてもそう思う

4 : そう思う

3 : どちらとも言えない

2 : あまりそう思わない

1 : 全くそう思わない

0 : あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合

Q19. この科目の授業内容についてよく理解できていますか。

Q20. 授業内容に興味を持っていますか。

Q21. あなたはこの授業の到達目標を達成できると思いますか。  
(Q8~12・14・15・17・19~21 選択肢)

5 : とてもそう思う

4 : そう思う

3 : どちらとも言えない

2 : あまりそう思わない

1 : 全くそう思わない

Q22. 教員自由設定質問

Q23. この授業のよかった点を具体的に記入してください。

Q24. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。

**【学年別平均値】**

表 1 はアンケート質問項目 (Q4・6~21) の学年別平均値を示したものである。

表 1 学年別の平均値

学年別	1 年	2 年	3 年	4 年	その他
Q 4 平均値	4.5	4.4	4.4	3.8	3.4
Q 6 平均値	1.3	1.3	1.3	1.4	1.8
Q 7 平均値	1.3	1.3	1.3	1.4	1.8
Q 8 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
Q 9 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2
Q10 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3
Q11 平均値	4.1	4.2	4.2	4.3	4.2
Q12 平均値	3.9	3.9	4.0	4.1	3.9
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0
Q14 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3
Q15 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3	4.1
Q16 平均値	3.9	3.9	3.9	4.1	3.9
Q17 平均値	4.0	4.1	4.1	4.2	4.0
Q18 平均値	4.0	4.1	4.1	4.1	3.9
Q19 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	4.0
Q20 平均値	3.8	3.8	3.9	4.0	3.9
Q21 平均値	3.7	3.8	3.8	3.9	3.9
有効回答数	17,870	11,351	5,484	2,175	43

## 【入試形態との関連】

2010 年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプの質問を追加している（Q3）。なお、回答は任意とした（回答率 99.4%）。（表 2 入試形態別の項目別平均値）

表 2 入試形態別の項目別平均値（Q4・6～21）

入試形態別	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q4 平均値	4.4	4.3	4.5	4.1	4.5	4.4	4.6	3.9	4.2	4.5	4.2
Q6 平均値	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.8	1.7	1.3	1.3	1.5
Q7 平均値	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3	1.2	1.9	1.6	1.3	1.3	1.6
Q8 平均値	3.7	3.7	3.8	3.8	3.9	3.7	4.3	3.8	3.9	3.8	3.7
Q9 平均値	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.5	4.2	4.4	4.3	4.2
Q10 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.2	4.5	4.2	4.4	4.4	4.2
Q11 平均値	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.4	4.2	4.3	4.1	4.1
Q12 平均値	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.3	3.9	4.3	3.8	3.8
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.3	3.9	4.3	3.9	3.9
Q14 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.5	4.1	4.4	4.2	4.1
Q15 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.1	4.4	4.1	4.4	4.1	4.1
Q16 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	3.8	4.4	3.9	4.1	3.9	3.8
Q17 平均値	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.4	4.0	4.2	4.1	4.0
Q18 平均値	4.1	4.0	4.1	4.0	4.1	4.0	4.4	4.0	4.3	4.1	3.9
Q19 平均値	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	4.3	3.9	4.1	3.7	3.8
Q20 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	4.2	3.9	4.1	3.8	3.8
Q21 平均値	3.8	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	4.2	3.9	4.1	3.6	3.7
有効回答数	19,970	3,527	3,300	960	4,357	3,430	597	76	232	270	204

【学部学科・専攻・部門別集計結果】授業担当者の所属別に、専任教員と非常勤教員を分けて集計をした。

表3 教員所属の学科・専攻・部門別平均値 (Q4・6~21) ※「-」は前期アンケート対象科目なし

(学部)学科・専攻・部門	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.1	-	4.1	3.9	3.9	-	4.5	4.5	-
Q6 平均値		1.0	-	1.0	1.1	1.1	-	1.1	1.1	-
Q7 平均値		1.0	-	1.0	1.1	1.1	-	1.0	1.0	-
Q8 平均値		3.5	-	3.5	3.0	3.0	-	3.8	3.8	-
Q9 平均値		3.9	-	3.9	4.1	4.1	-	4.3	4.3	-
Q10 平均値		4.1	-	4.1	4.1	4.1	-	4.4	4.4	-
Q11 平均値		4.0	-	4.0	4.1	4.1	-	4.1	4.1	-
Q12 平均値		4.0	-	4.0	3.6	3.6	-	4.0	4.0	-
Q13 平均値		4.0	-	4.0	3.5	3.5	-	4.1	4.1	-
Q14 平均値		4.4	-	4.4	3.9	3.9	-	4.3	4.3	-
Q15 平均値		4.5	-	4.5	2.9	2.9	-	4.2	4.2	-
Q16 平均値		4.0	-	4.0	3.5	3.5	-	4.1	4.1	-
Q17 平均値		4.2	-	4.2	3.6	3.6	-	4.2	4.2	-
Q18 平均値		4.2	-	4.2	3.7	3.7	-	4.1	4.1	-
Q19 平均値		3.4	-	3.4	3.1	3.1	-	4.0	4.0	-
Q20 平均値		3.5	-	3.5	3.2	3.2	-	3.7	3.7	-
Q21 平均値		3.3	-	3.3	3.3	3.3	-	3.8	3.8	-
有効回答数		22			57			72		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.3	-	4.3	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4
Q6 平均値		1.4	-	1.4	1.3	1.3	1.3	1.2	1.3	1.2
Q7 平均値		1.4	-	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.5	1.2
Q8 平均値		3.9	-	3.9	3.7	3.8	3.6	3.8	3.9	3.7
Q9 平均値		4.3	-	4.3	4.2	4.3	4.0	4.2	4.3	4.1
Q10 平均値		4.4	-	4.4	4.3	4.3	4.2	4.3	4.4	4.2
Q11 平均値		4.2	-	4.2	4.0	4.1	3.7	4.3	4.3	4.2
Q12 平均値		3.9	-	3.9	3.8	3.9	3.7	4.1	4.1	4.1
Q13 平均値		3.9	-	3.9	3.9	4.0	3.8	4.2	4.2	4.2
Q14 平均値		4.2	-	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2
Q15 平均値		4.3	-	4.3	4.0	4.1	3.9	4.3	4.2	4.4
Q16 平均値		4.2	-	4.2	3.8	3.9	3.8	4.1	4.0	4.2
Q17 平均値		4.2	-	4.2	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.1
Q18 平均値		4.2	-	4.2	4.0	4.0	4.0	4.1	4.2	4.0
Q19 平均値		3.8	-	3.8	3.7	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8
Q20 平均値		3.7	-	3.7	3.8	3.9	3.7	4.0	4.0	4.0
Q21 平均値		3.7	-	3.7	3.7	3.7	3.6	3.8	3.8	3.9
有効回答数		92			700			592		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.3	4.5	4.6	4.5	4.7
Q6 平均値	1.7	1.8	1.6	1.1	1.0	1.1	1.1	1.0	1.1
Q7 平均値	1.2	1.1	1.3	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
Q8 平均値	4.1	4.0	4.2	3.7	4.1	3.7	3.8	3.8	3.9
Q9 平均値	4.3	4.1	4.6	4.3	4.3	4.3	4.3	4.0	4.4
Q10 平均値	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5
Q11 平均値	4.3	4.2	4.3	4.3	4.5	4.3	4.4	4.4	4.4
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.4	4.0	4.3	4.3	4.3
Q13 平均値	4.2	4.2	4.2	4.0	4.2	4.0	4.3	4.5	4.2
Q14 平均値	4.4	4.3	4.4	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.4
Q15 平均値	4.5	4.6	4.4	4.2	4.6	4.2	4.5	4.7	4.4
Q16 平均値	4.1	4.2	4.1	4.0	4.2	3.9	4.4	4.3	4.4
Q17 平均値	4.3	4.2	4.4	4.2	4.3	4.2	4.4	4.3	4.4
Q18 平均値	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3
Q19 平均値	4.1	4.1	4.2	3.8	4.1	3.8	4.0	4.1	4.0
Q20 平均値	4.1	4.0	4.2	4.1	4.5	4.0	4.1	4.2	4.0
Q21 平均値	4.0	3.9	4.1	3.8	4.2	3.8	3.9	3.8	3.9
有効回答数	192			163			109		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.5	4.5	4.4	4.6	4.7	4.5	4.4	-	4.4
Q6 平均値	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	-	1.2
Q7 平均値	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	-	1.2
Q8 平均値	3.6	3.6	3.7	3.9	3.9	3.9	3.9	-	3.9
Q9 平均値	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.5	-	4.5
Q10 平均値	4.3	4.4	4.3	4.2	4.1	4.3	4.4	-	4.4
Q11 平均値	4.1	4.2	4.0	4.1	4.1	4.1	4.3	-	4.3
Q12 平均値	3.7	3.9	3.4	4.0	4.0	4.0	4.1	-	4.1
Q13 平均値	3.8	4.0	3.5	4.1	4.1	4.1	4.1	-	4.1
Q14 平均値	4.0	4.1	3.8	4.3	4.3	4.3	4.3	-	4.3
Q15 平均値	3.7	4.0	3.5	4.1	4.2	4.0	4.3	-	4.3
Q16 平均値	3.4	3.5	3.3	4.0	3.9	4.0	4.2	-	4.2
Q17 平均値	3.8	3.9	3.7	4.1	4.1	4.1	4.3	-	4.3
Q18 平均値	3.8	3.9	3.5	4.1	4.1	4.1	4.2	-	4.2
Q19 平均値	3.5	3.7	3.4	3.8	3.8	3.8	3.9	-	3.9
Q20 平均値	3.6	3.8	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	-	4.0
Q21 平均値	3.5	3.7	3.3	3.8	3.9	3.8	3.8	-	3.8
有効回答数	763			710			480		

(学部)学科・専攻・部門	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4
Q6 平均値		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3	1.3	1.2
Q7 平均値		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3	1.3	1.3
Q8 平均値		3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.9	3.9	3.8
Q9 平均値		4.2	4.1	4.3	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.2
Q10 平均値		4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3
Q11 平均値		4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.2
Q12 平均値		4.0	4.0	4.0	3.8	3.8	3.8	4.0	4.1	4.0
Q13 平均値		4.0	4.0	4.1	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.0
Q14 平均値		4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2
Q15 平均値		4.2	4.2	4.2	4.0	4.1	3.9	4.3	4.3	4.2
Q16 平均値		3.9	4.0	3.9	3.7	3.8	3.7	4.0	4.0	4.0
Q17 平均値		4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	3.9	4.2	4.2	4.1
Q18 平均値		4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1
Q19 平均値		3.9	3.8	3.9	3.6	3.6	3.6	3.8	3.8	3.9
Q20 平均値		3.9	3.8	3.9	3.7	3.7	3.7	4.0	4.0	3.9
Q21 平均値		3.8	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7	3.9	3.9	3.9
有効回答数		4,601			2,366			2,645		

(学部)学科・専攻・部門	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4
Q6 平均値		1.3	1.3	1.2	1.3	1.2	1.3	1.2	1.1	1.2
Q7 平均値		1.4	1.4	1.2	1.3	1.3	1.3	1.2	1.1	1.3
Q8 平均値		3.6	3.5	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8
Q9 平均値		4.0	3.9	4.1	4.3	4.4	4.1	4.2	4.2	4.3
Q10 平均値		4.1	4.1	4.1	4.4	4.5	4.2	4.3	4.4	4.3
Q11 平均値		3.9	3.9	4.1	4.3	4.4	4.1	4.1	4.1	4.1
Q12 平均値		3.3	3.1	4.0	4.1	4.2	4.0	3.8	3.8	3.8
Q13 平均値		3.6	3.5	3.9	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	4.0
Q14 平均値		3.9	3.8	4.2	4.3	4.4	4.1	4.1	4.2	4.0
Q15 平均値		3.8	3.8	4.0	4.3	4.4	4.2	4.1	4.3	4.0
Q16 平均値		3.5	3.4	3.7	4.1	4.1	4.0	3.8	4.0	3.7
Q17 平均値		3.8	3.7	4.1	4.2	4.2	4.1	4.0	4.1	4.0
Q18 平均値		3.6	3.5	4.0	4.2	4.2	4.1	4.0	4.1	3.9
Q19 平均値		3.3	3.1	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.7
Q20 平均値		3.4	3.3	3.8	4.0	4.0	4.0	3.7	3.6	3.8
Q21 平均値		3.3	3.2	3.7	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8
有効回答数		674			638			463		

(学部)学科・専攻・部門	(経営)市場戦略			(医療健康科)			(GMS)		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.4	4.4	4.4	4.7	4.7	4.6	4.4	4.3	4.4
Q6 平均値	1.2	1.2	1.2	1.1	1.2	1.1	1.3	1.2	1.4
Q7 平均値	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3	1.1	1.3	1.2	1.5
Q8 平均値	3.6	3.5	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	4.0
Q9 平均値	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.1	4.4	4.4	4.2
Q10 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4
Q11 平均値	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.3
Q12 平均値	3.8	3.7	4.0	3.7	3.7	3.8	3.9	3.9	3.9
Q13 平均値	3.8	3.7	4.1	3.9	3.8	4.1	3.9	3.9	4.1
Q14 平均値	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.2
Q15 平均値	3.8	3.7	4.2	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1
Q16 平均値	3.7	3.6	4.0	3.7	3.7	3.9	3.9	4.0	3.8
Q17 平均値	3.8	3.8	4.0	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.0
Q18 平均値	3.9	3.9	4.0	4.1	4.1	3.9	4.1	4.0	4.2
Q19 平均値	3.5	3.4	3.9	3.5	3.5	3.5	3.8	3.8	3.8
Q20 平均値	3.6	3.5	4.0	3.7	3.7	3.7	3.9	3.8	3.9
Q21 平均値	3.6	3.5	3.9	3.6	3.6	3.5	3.7	3.7	3.7
有効回答数	800			1,291			2,211		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究)文化学			(総合教育研究)自然科学			(総合教育研究)日本文化		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4
Q6 平均値	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1
Q7 平均値	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1
Q8 平均値	3.6	3.5	3.7	3.7	3.7	3.6	3.9	3.8	4.1
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4	4.5
Q11 平均値	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.4
Q12 平均値	4.0	3.9	4.1	3.9	4.0	3.7	4.2	4.2	4.2
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8	4.2	4.2	4.3
Q14 平均値	4.2	4.1	4.3	4.1	4.2	4.0	4.4	4.5	4.4
Q15 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.2	3.9	4.4	4.4	4.3
Q16 平均値	3.8	3.9	3.6	3.8	4.0	3.6	4.2	4.2	4.2
Q17 平均値	4.1	4.0	4.1	4.0	4.1	3.9	4.3	4.3	4.2
Q18 平均値	4.0	3.9	4.1	3.9	4.0	3.8	4.2	4.3	4.2
Q19 平均値	3.7	3.7	3.6	3.7	3.7	3.6	4.0	4.0	4.1
Q20 平均値	3.8	3.7	3.9	3.8	3.8	3.7	4.1	4.1	4.2
Q21 平均値	3.7	3.7	3.6	3.7	3.7	3.6	4.0	3.9	4.0
有効回答数	579			2,782			1,122		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 外国語第一			(総合教育研究) 外国語第二			(総合教育研究) スポーツ・健康科学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.3	4.3	-
Q6 平均値	1.4	1.3	1.4	1.3	1.2	1.4	1.1	1.1	-
Q7 平均値	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3	1.4	1.1	1.1	-
Q8 平均値	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.9	-
Q9 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2	4.0	4.0	-
Q10 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	-
Q11 平均値	4.1	4.0	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	-
Q12 平均値	3.8	3.7	3.8	3.9	3.9	4.0	4.2	4.2	-
Q13 平均値	3.9	3.8	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	-
Q14 平均値	4.1	4.0	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	-
Q15 平均値	4.1	4.0	4.1	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	-
Q16 平均値	3.9	3.8	4.0	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	-
Q17 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	4.1	4.2	4.3	4.3	-
Q18 平均値	4.0	3.9	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	-
Q19 平均値	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.8	4.1	4.1	-
Q20 平均値	3.7	3.6	3.7	3.9	3.8	4.0	4.0	4.0	-
Q21 平均値	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.8	4.0	4.0	-
有効回答数	7,904			3,062			406		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 教職課程		
	専任・非常勤区分	全体	専任
Q4 平均値	4.5	4.5	4.5
Q6 平均値	1.2	1.2	1.2
Q7 平均値	1.2	1.2	1.2
Q8 平均値	3.9	3.9	3.9
Q9 平均値	4.4	4.4	4.3
Q10 平均値	4.4	4.5	4.4
Q11 平均値	4.3	4.4	4.2
Q12 平均値	4.1	4.2	4.0
Q13 平均値	4.2	4.2	4.2
Q14 平均値	4.4	4.4	4.3
Q15 平均値	4.3	4.3	4.2
Q16 平均値	4.0	4.2	3.9
Q17 平均値	4.2	4.3	4.1
Q18 平均値	4.1	4.2	4.1
Q19 平均値	4.0	4.0	4.0
Q20 平均値	4.0	4.0	4.0
Q21 平均値	4.0	4.0	3.9
有効回答数	1,358		

## 「学生による授業アンケート（前期）」集計結果について

(1) 今年度前期の授業アンケートは、質問項目について、よりの確な質問にするため設問文と選択肢の文言を修正すると共に、予習・復習にあてた時間を分けて質問する項目と教員が任意に設定して質問する項目を設けて実施した。

(2) まず、今回の回答率は 52.1%であった。C-Learning による回答方式を開始した 2014 年度前期が 56.2%、2015 年度前期が 58.7%と上昇傾向にあった中で、6.6%と大きく低下した点については、後期実施分の回答率を向上させるためにも、その原因の検証と対策が必要であろう。

(3) 次に、学年別平均値について、昨年度前期と比較すると、数値が低下した個数 (12) よりも上昇した個数 (18) の方が多く、全体的な結果は向上していると捉えてよいと思われる。また、数値が低下した個数と上昇した個数を学生に関わる質問項目 (Q 4・Q 5～Q 8・Q 19～21) と教員に関わる質問項目 (Q 9～Q 21) に区分けしてみると、学生に関わる質問項目は低下 7・上昇 5、教員に関わる質問項目は低下 7・上昇 15 となる。早計かもしれないが、授業改善に向けた教員の取り組みが、一定程度、奏功しているのではなかろうか。

予習・復習時間に関する質問項目 (Q 6・Q 7) については、1 年生から 3 年生について 0.1 低下し、全体平均値は予習・復習時間いずれも 1.4 と低水準である。この結果によれば、学生の勉強の絶対量が少ないものと考えられるところ、今後の授業運営を組み立てる上で考慮すべき指標の一つとなろう。

また、昨年度前期と比較して、全学年で数値が上昇した質問項目は Q 11 (授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか) である。数値の差は 0.1～0.2 と若干ではあったが、シラバスの在り方が注視されている昨今の情勢に鑑みれば、良い結果となった。これに対し、全学年で数値が低下した質問項目は Q 10 (通常通り、授業回数は確保されていますか) である。もっとも、数値は 4.3～4.4 と高水準であり、また、数値の差は 0.1 であって、憂慮するほどではない。

また、昨年度前期でも見られた傾向であるが、学年が上がることに回答率が減少している (1 年生 72.7%、2 年生 51.1%、3 年生 38.7%、4 年生 23.0%)。学生の授業への出席率も影響しているものと考えられるが、授業アンケートに対する学生の認識・理解に向けたより一層の取り組みが必要となろう。

(4) 入試形態別平均値について、入試形態に直接関

係すると思料される質問項目 (Q 4・Q 5～Q 8・Q 19～21) に絞って昨年度前期と比較すると、全ての入試形態で数値が上昇した質問項目は Q 4 (この授業を何回欠席しましたか) であり、数値の差は 0.1～0.2 であった。これに対し、ほぼ全ての入試形態で数値が低下した質問項目は予習・復習時間に係る Q 6・Q 7 であり、数値の差は 0.1～0.3 であった。

また、数値が上昇した個数が低下した個数を上回った入試形態は、一般推薦入試 (上昇 2・低下 1) と帰国生特別入試 (上昇 3・低下 2) の 2 つのみであった。

さらに、理由は明らかではないが、留学生特別入試は、前記の質問項目の全てで最も数値が高かった。これに対し、最低値となった質問項目数で比較すると、附属推薦入試 (5)、一般推薦入試 (4)、指定校推薦入試 (3)、大学入試センター試験利用入試 (2)、スポーツ推薦入試 (2)、一般入試 (1)、帰国生特別入試 (1)、編入学試験 (0) の順であった。

(5) 学部学科・専攻・部門別平均値について、質問項目毎に学部等間で比較すると、平均 0.8、最低 0.4 (復習時間に関する Q 7)、最高 1.6 (Q 15 教員の話し方・声のボリュームは聞き取りやすいですか) の差となった。もちろん、回答数に大きな差があることや受講人数の差異、各学部等の特性なども考慮に入れなければならないが、いずれの質問項目についても学部等間で差が生じない方が望ましいので、そのための取り組みが引き続き必要となろう。

また、全学的に専任教員と非常勤教員に分けて、それぞれ全ての質問項目 (Q 4・Q 6～21) の合計数値の平均値を比較すると、いずれも 61.3 となり、差はなかった。しかし、専任と非常勤双方の数値がある学部等について、個別に同様の比較をすると、平均 1.7、最低 0.1、最高 5.3 の差となった。

(6) 最後に、教員の C-Learning へのログイン状況について、7 月 22 日時点で、アンケート実施期間内と実施後にログインした割合の合計数値は、専任教員 63.5%、非常勤教員 39.7%であった。本学の授業アンケートは、結果を学生に対して適宜の方法でフィードバックすることも含めた形で組み立てられている。また、学生からしても、アンケート結果が活用されていることを実感できなければ、アンケートに協力しようという意識も生じにくいであろう。

(7) 以上、前期の授業アンケートの集計結果についてコメントしてきたが、他の見方や評価も十分にあると思われるので、個々にご検討頂き、今後の授業運営に役立てて頂ければ幸いである。

(田中 優企)

## 連載企画：よりよい教育のために

## 「就活」と授業運営

法学部 学部長 高橋 洋城

ほとんどの学生にとって「就職」が大学生活最大の目的であることは間違いないが、「就活」によって授業や演習の運営に大きな——たいていの場合負の——影響を被っているのは大学教員共通の悩みではないかと思う。私自身もそれに対して何か妙案があるわけではない。ただ一方で、「就活」が授業・演習にもたらすプラスの効果を実感しているところもある。

一昨年度の演習では、近年法学分野でも流行した「アーキテクチャ」なる概念をテーマに選んだ。これは、法規範などによる規制とは異なる、物理的環境やソフトウェアによって一定の方向に行動を誘導するもの一般を指す概念であるが、2000年代から使われ始めた新奇な概念であるだけに、私自身も雲を掴むような思いでゼミを進めていたし、当然ながらゼミ生の反応も全然ヴィヴィッドなものではなかった。

しかし授業期間も終わる頃になると、就活を終えた学生から、ゼミでの議論が就活でも役だったという話を聞かされた。企業の面接官にとってもおそらく聞いたことのない用語であったためか、法と関係する「アーキテクチャ」とは一体何のことかと、概念の定義やその意義の説明を面接で聞かれることが多かったというのである。

日常のゼミにおいては、報告者の学生も消化不良な内容を自信ないまま説明してしまうことが多いし、質問者に回った際も、理解の不十分さに加え自分が報告者の立場になったときのことを考えるのか今ひとつ厳しい質問や批判が出てこない。一方、教員としてはできるだけ学生の意図するところを酌みとり、評価してやる姿勢で臨まざるをえない。その相乗効果で、当該年度に限らず、ゼミでは非常にゆい質疑応答に終始することがしばしばである。

一方、企業の面接に行けば面接官は容赦せず学生の素質を見抜く気持ちで質問を浴びせるであろうし、学生も必死で答えようとする。そして次の会社の面接に備えさらに自学自修したことであろう。学生は授業時よりもさらに高いテンションの中で、主体的に授業の成果を咀嚼しなおして自分の言葉で説明す

る努力を行っているように思われる。

もちろん、大学の中でそうした学生の能動的な姿勢を引き出すことこそが、現在大学教員に求められている能力であるが、有能な人材を選別したいという冷徹な企業側の姿勢が学生に与える緊張感とそれが生み出す効果は、学内の教育現場では得にくいものでもある。むしろこのような場面をあらかじめ想定したゼミ運営を行うことが私自身の課題であるし、一般的にも、避けることのできない就活というイベントそのものを有機的に教育活動に組み込むことができれば、学生・教員双方にとって望ましいことであろう。すでに多くの先生方がそれぞれ実践されていることと思われるが、そうした工夫をこれから色々な機会にうかがうことができれば大変有益なことと思う。

## FD推進委員会の今後の活動予定

- 平成 28 年度第 5 回FD推進委員会小委員会  
平成 28 年 10 月 17 日（月） 14：40～
- 平成 28 年度第 3 回FD推進委員会  
平成 28 年 11 月 4 日（金） 16：20～

※FD活動についてご意見がありましたら、各学部等の小委員会委員までお申し出ください。

## 2016 年度「公開授業」実施のお知らせ

今年も例年通り 11 月中旬から 12 月上旬にかけて「公開授業」を実施いたします。「公開授業」はよりよい授業の在り方を再考し、教える技術（教授法）について学ぶことができる貴重な機会となりますので是非ご参加ください。

日程等、詳細が決定しましたら、各学部等事務室及びKONMAでお知らせいたします。

～2016 年度「学生による授業アンケート」  
(後期) 実施のお知らせ～

実施期間：平成 28 年 11 月 9 日 (水) ～30 日 (水)

対象科目：全科目対象 (集中講義科目、演習科目、  
受講生が 20 名未満の科目は除く)

※WEBによるアンケートを実施しています (PC、  
スマートフォン、携帯電話、タブレット等を使用し  
て回答されます)。



編集後記

リオオリンピック、リオパラリンピックも終了致しましたが、日本選手団の活躍が今も熱く思い出される日々です。メダルを取れた方、入賞した方、出場を果たせた方々、そしてそれを支えた周りの方々はもちろんのこと、オリンピックの舞台に立とうと心に決めている方々は、すでに次の東京オリンピックという大きな目標に向かって今も絶え間ない努力をしている真っ最中と思います。さて、今回のオリンピック、パラリンピックの日本選手団の結果に負けない程、本学の授業アンケートの結果も各項目の平均点が向上しています。これもひとえに前年度の授業アンケート結果を参考に、各先生方がより良い授業へ向かって絶え間ない努力をして頂いた進化の結果と考えております。ありがとうございました。そして、次なる授業進化のきっかけとなる、「ベスト・ティーチング賞」では、オリンピックさながらに設けられた各賞が受賞される先生方に授与されます。駒澤大学の東京オリンピックは4年後を待たず間もなく開催予定です。お互いに手を取り合って駒澤大学の向上のために頑張ってください。今後とも今までと変わらず、FD活動に熱いご協力をお願い申し上げます。

(田中優企、熊坂さつき)

【タイトル横の写真は、

本部棟ロビーのアクティブ・ラーニング スペース】

FD NEWSLETTER Sep. 2016 第 48 号

発行日：2016 年 9 月 30 日

発行者：駒澤大学FD推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

Tel 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)